

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年9月11日

**【四半期会計期間】** 第30期第3四半期(自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日)

**【会社名】** パーク二四株式会社  
(定款上の商号 パーク24株式会社)

**【英訳名】** PARK24 Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 西川 光一

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区有楽町二丁目7番1号

**【電話番号】** 03(3213)8900

**【事務連絡者氏名】** 取締役 執行役員 経営企画本部長 佐々木 賢一

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区有楽町二丁目7番1号

**【電話番号】** 03(3213)8900

**【事務連絡者氏名】** 取締役 執行役員 経営企画本部長 佐々木 賢一

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第3四半期 連結累計期間	第30期 第3四半期 連結累計期間	第29期
会計期間	自 平成24年11月1日 至 平成25年7月31日	自 平成25年11月1日 至 平成26年7月31日	自 平成24年11月1日 至 平成25年10月31日
売上高 (百万円)	113,320	122,604	155,428
経常利益 (百万円)	13,404	12,563	19,508
四半期(当期)純利益 (百万円)	7,684	7,613	11,261
四半期包括利益又は 包括利益 (百万円)	7,919	7,707	11,554
純資産額 (百万円)	51,248	57,573	54,968
総資産額 (百万円)	127,374	134,145	126,574
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	53.32	52.54	78.11
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	51.76	49.57	75.22
自己資本比率 (%)	40.0	42.6	43.1
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	13,637	19,074	26,123
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	10,482	13,784	17,477
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,047	6,636	5,416
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	14,183	13,967	15,310

回次	第29期 第3四半期 連結会計期間	第30期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日	自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日
1株当たり四半期純利益金 額 (円)	19.77	15.79

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移は記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成25年11月1日～平成26年7月31日）におけるわが国経済は、企業の業況感の改善等により設備投資や生産、雇用が回復傾向にあるものの、物価は緩やかに上昇し、個人消費については消費税率引上げに伴う弱い動きもみられております。建設工事費や資源エネルギー価格の上昇、新興国を中心とした海外景気の下振れリスク等もあり、その先行きは不透明な状況となっております。

このような環境のもと当社グループは、快適なクルマ社会の実現に向け、「駐車場事業」においては収益のベースとなる総運営件数・台数の拡大に、「モビリティ事業」においてはレンタカーサービスにおけるサービス品質の向上、カーシェアリングサービスにおける規模拡大と収益化に取り組んでまいりましたが、2月に発生した記録的大雪による道路交通量の極端な減少、消費増税後の消費者マインドの低下、ガソリン高を背景としたクルマの乗り控え等、「駐車場事業」「モビリティ事業」共に、相対的に厳しい事業環境が継続しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は1,226億4百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益126億65百万円（同6.2%減）、経常利益125億63百万円（同6.3%減）、四半期純利益は76億13百万円（同0.9%減）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 「駐車場事業」

今期から導入したより細分化された地域ごとに開発と運用を1ユニットで営業活動するエリア制への体制変更、商業施設のアウトソーシング需要の取込等により駐車場開発は順調に進み、当四半期連結累計期間末におけるタイムズ駐車場の運営件数は13,742件（前連結会計年度末比107.6%）、運営台数は463,151台（同107.4%）、月極駐車場及び管理受託駐車場を含めた総運営件数は15,185件（同106.9%）、総運営台数は568,149台（同106.2%）となりました。

またその体制により、直近の利用データのみならず将来の周辺環境の変化に応じたきめ細かい運営施策を行うことで収益力の向上を図ったものの、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は949億85百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は178億95百万円（同2.5%減）となりました。

#### 「モビリティ事業」

レンタカーサービスについては、Web予約や法人向け営業の強化、お客様サービス品質の向上等に努めております。カーシェアリングサービスについては、運用システムの改善と配備車両の増加等により、さらに利用しやすい環境作りをすすめており、個人のお客様のみならず法人のお客様のご利用も増加してきました。またモビリティ事業のバックヤード機能を充実させることにより、車両メンテナンス費用及び不稼働時間の低減を図っております。

この結果、モビリティ事業全体の当四半期連結累計期間末の車両台数は前連結会計年度末比115.1%の37,967台（うち、カーシェアリングサービスの車両台数は9,484台）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は277億24百万円（前年同期比18.3%増）、営業損失は15百万円（前年同期は3億38百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比75億70百万円増加して1,341億45百万円となりました。これは主として機械装置及び運搬具、リース資産等の有形固定資産が47億60百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は、同49億65百万円増加し、765億71百万円となりました。これは長・短借入金の増加14億63百万円、資産除去債務の増加2億53百万円のほか、流動負債その他に含まれる設備関係支払手形の増加などによるものです。

純資産は、利益剰余金の配当により57億73百万円減少した一方、四半期純利益の計上により76億13百万円、ストック・オプションの行使による新株の発行により10億36百万円増加したことなどにより、同26億5百万円増加し、575億73百万円となりました。

### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて13億42百万円減少し、139億67百万円となりました。

当四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、190億74百万円（前年同期比54億36百万円の増加）となりました。主な内訳といたしましては、減価償却費を加えた税金等調整前四半期純利益259億49百万円に対し、法人税等の支払額75億51百万円があったことなどによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用したキャッシュ・フローは、137億84百万円（前年同期比33億1百万円の増加）となりました。これは主として、レンタカー等貸出車両の取得やタイムズ駐車場の開設に伴う、有形固定資産の取得による支出99億71百万円、長期前払費用の取得による支出24億47百万円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、66億36百万円の資金の支出（前年同期比55億89百万円の支出の増加）となりました。これは、長期借入れによる収入74億円、株式の発行による収入が8億46百万円あった一方、配当金の支払額57億75百万円、長期借入金の返済58億86百万円、リース債務の返済28億61百万円があったことなどによるものです。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (5) 研究開発活動

特記事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	283,680,000
計	283,680,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年7月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年9月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	151,744,404	151,744,404	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	151,744,404	151,744,404	-	-

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成26年9月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成26年5月1日～ 平成26年7月31日	16,000	151,744,404	8	8,194	8	9,946

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年4月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成26年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	(自己保有株式) 普通株式 6,620,900	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 145,070,000	1,450,700	-
単元未満株式	普通株式 37,504	-	-
発行済株式総数	151,728,404	-	-
総株主の議決権	-	1,450,700	-

(注) 「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が12,800株（議決権128個）含まれております。

## 【自己株式等】

平成26年7月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) パーク24株式会社	東京都千代田区有楽町2-7-1	6,620,900	-	6,620,900	4.36
計	-	6,620,900	-	6,620,900	4.36

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年5月1日から平成26年7月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年11月1日から平成26年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,326	13,983
受取手形及び売掛金	6,710	7,437
たな卸資産	692	734
その他	10,018	11,829
貸倒引当金	24	29
流動資産合計	32,722	33,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,194	12,169
機械装置及び運搬具（純額）	25,271	29,026
土地	24,303	24,303
リース資産（純額）	12,627	13,410
その他（純額）	3,798	4,045
有形固定資産合計	78,195	82,955
無形固定資産		
のれん	1,355	1,087
その他	1,191	1,465
無形固定資産合計	2,546	2,553
投資その他の資産	<sup>1</sup> 13,110	<sup>1</sup> 14,680
固定資産合計	93,852	100,188
資産合計	126,574	134,145
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	492	648
短期借入金	8,666	5,952
未払法人税等	4,411	1,450
賞与引当金	1,139	602
引当金	102	63
その他	17,074	23,398
流動負債合計	31,885	32,116
固定負債		
新株予約権付社債	21,000	21,000
長期借入金	5,372	9,550
退職給付引当金	691	716
引当金	278	-
資産除去債務	4,033	4,287
その他	8,344	8,901
固定負債合計	39,721	44,455
負債合計	71,606	76,571

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,675	8,194
資本剰余金	9,428	9,946
利益剰余金	47,878	49,718
自己株式	9,343	9,652
株主資本合計	55,639	58,206
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	70	87
土地再評価差額金	1,052	1,052
為替換算調整勘定	113	37
その他の包括利益累計額合計	1,096	1,002
新株予約権	425	368
純資産合計	54,968	57,573
負債純資産合計	126,574	134,145

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
売上高	113,320	122,604
売上原価	81,947	90,521
売上総利益	31,372	32,082
販売費及び一般管理費	17,877	19,416
営業利益	13,495	12,665
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	5	8
持分法による投資利益	0	12
駐車場違約金収入	32	32
未利用チケット収入	108	126
為替差益	120	29
その他	165	67
営業外収益合計	432	277
営業外費用		
支払利息	172	78
駐車場解約費	295	282
その他	56	19
営業外費用合計	524	379
経常利益	13,404	12,563
特別利益		
固定資産売却益	112	-
特別利益合計	112	-
特別損失		
固定資産除却損	14	28
ブランド変更費用	879	-
特別損失合計	894	28
税金等調整前四半期純利益	12,622	12,534
法人税、住民税及び事業税	4,587	4,496
法人税等調整額	351	424
法人税等合計	4,938	4,921
少数株主損益調整前四半期純利益	7,684	7,613
四半期純利益	7,684	7,613

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,684	7,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	17
為替換算調整勘定	70	9
持分法適用会社に対する持分相当額	135	66
その他の包括利益合計	235	93
四半期包括利益	7,919	7,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,919	7,707

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,622	12,534
減価償却費	12,105	13,414
退職給付引当金の増減額（は減少）	84	9
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	5	270
受取利息及び受取配当金	6	9
支払利息	172	78
固定資産売却損益（は益）	112	-
固定資産除却損	14	28
売上債権の増減額（は増加）	596	726
たな卸資産の増減額（は増加）	554	1,393
仕入債務の増減額（は減少）	547	156
未収入金の増減額（は増加）	333	637
前払費用の増減額（は増加）	650	1,342
未払金の増減額（は減少）	1,445	869
設備関係支払手形の増減額（は減少）	389	971
その他	503	223
小計	23,258	26,695
利息及び配当金の受取額	7	9
利息の支払額	164	79
法人税等の支払額	9,463	7,551
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,637	19,074
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	16	16
定期預金の払戻による収入	16	16
有形固定資産の取得による支出	7,497	9,971
有形固定資産の売却による収入	492	52
無形固定資産の取得による支出	345	461
投資有価証券の取得による支出	-	500
投資有価証券の売却による収入	3	-
長期前払費用の取得による支出	2,900	2,447
その他	235	456
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,482	13,784

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	5,343	50
長期借入れによる収入	1,700	7,400
長期借入金の返済による支出	10,364	5,886
リース債務の返済による支出	2,422	2,861
新株予約権付社債の発行による収入	19,961	-
株式の発行による収入	460	846
自己株式の取得による支出	-	309
配当金の支払額	5,038	5,775
その他	0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,047	6,636
現金及び現金同等物に係る換算差額	46	3
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,154	1,342
現金及び現金同等物の期首残高	12,028	15,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 14,183	<sup>1</sup> 13,967

## 【注記事項】

## (追加情報)

## (法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成26年法律第10号）が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以降に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成26年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については従来の38.0%から35.6%に変更されることとなります。なお、この変更による影響額は軽微であります。

## (役員退職慰労引当金)

平成26年1月29日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打切り支給を決議しました。これに伴い役員退職慰労引当金(固定負債の「引当金」)の全額を取り崩し、打切り支給の未払額を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

## (四半期連結貸借対照表関係)

## 1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
投資その他の資産	14百万円	15百万円

## 2 有形固定資産の所有目的の変更

レンタカー事業において中古車両の売却を営業サイクルの一環として行う為、前連結会計年度及び当四半期連結累計期間においてたな卸資産（商品）に振替えております。なお期末残高及び四半期末残高はありません。

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
たな卸資産（商品）	1,280百万円	1,436百万円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

## 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
現金及び預金勘定	14,199百万円	13,983百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	16百万円	16百万円
現金及び現金同等物	14,183百万円	13,967百万円

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年11月1日 至 平成25年7月31日）

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年1月29日 第28回定時株主総 会	普通株式	5,035	35	平成24年10月31日	平成25年1月30日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年11月1日 至 平成26年7月31日）

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年1月29日 第29回定時株主総 会	普通株式	5,773	40	平成25年10月31日	平成26年1月30日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年11月1日 至 平成25年7月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	89,916	23,404	113,320	-	113,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	83	29	112	112	-
計	89,999	23,434	113,433	112	113,320
セグメント利益又は損失( )	18,361	338	18,022	4,527	13,495

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 4,527百万円には、のれんの償却額 267百万円、全社費用 4,259百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年11月1日 至 平成26年7月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	94,906	27,698	122,604	-	122,604
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	26	105	105	-
計	94,985	27,724	122,709	105	122,604
セグメント利益又は損失( )	17,895	15	17,879	5,214	12,665

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 5,214百万円には、のれんの償却額 267百万円、全社費用 4,946百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	53円32銭	52円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	7,684	7,613
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	7,684	7,613
普通株式の期中平均株式数(千株)	144,130	144,896
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	51円76銭	49円57銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	23	-
普通株式増加数(千株)	4,791	8,700
(うち新株予約権)(千株)	(1,030)	(735)
(うち新株予約権付社債)(千株)	(3,760)	(7,964)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年9月10日

パーク二四株式会社

(定款上の商号 パーク24株式会社)

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 栗原 学 印指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 須山 誠一郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているパーク二四株式会社（定款上の商号 パーク24株式会社）の平成25年11月1日から平成26年10月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年5月1日から平成26年7月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年11月1日から平成26年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、パーク二四株式会社（定款上の商号 パーク24株式会社）及び連結子会社の平成26年7月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。